

# 長野 りんどう

2018.1  
No.53

発行／社会福祉法人長野りんどう会  
ライフサポートりんどう  
発行責任者／宮尾美代子  
〒381-0041 長野市徳間 3222  
TEL 026-239-7077  
FAX 026-239-7070  
<http://nagano-rindou.jp>  
E-mail:l.s.r@bg.wakwak.com

## 特集 ワークス上駒の移り変わりをたどる

新年あけましておめでとうございます。

今回は、通所授産施設から平成 23 年度に多機能型事業所として移転開設したワークス上駒の特集です。利用者の作業の様子や作業されている方のお話を聞いてみました。



この作品は、ワークス上駒を利用されている H さんの作品です。

理念

私たちは、誰もが人として尊重される福祉活動を通じて、地域福祉の推進に協力し、すべての人々が住みやすいまちづくりに貢献します。

# 通所授産施設

通所授産施設は精神保健福祉法の下、平成12年4月から平成23年3月までりんどう会本部において、定員20人で月～金曜日1日4時間作業を提供してきました。通所施設としての位置づけでしたが、個々の利用期間は長期にわたっていました。作業は1階での喫茶営業と4



階での靴下の返し作業、

独居老人宅への弁当配達、近隣農家へのお手伝いなどを行っていました。喫茶で使用する三角巾やメニュー立ての組み立て等、お喋りをしながら楽しく作業を行っていました。就職したい、あるいは工賃を稼ぎたいといった思いの利用者よりも居場所や交流といった目的の方が多かったように思います。



就労移行支援・就労継続支援B型

多機能型事業所  
ワークス上駒

ワークス上駒は就労移行支援事業と就労継続支援B型事業を行う多機能型事業所として平成23年4月に開設しました。利用定員は移行6人、B型35人、合わせて41人です。

障害者自立支援法の下でスタートした施設ですが、現在は障害者総合支援法の下で運営しています。利用目的は【移行】においては2年間の中で一般就労を目指していただき、必要な訓練を提供しています。【B型】においては工賃を稼ぎたい人には作業の提供を行い、就労を目指したい人には段階的に必要な訓練を提供し、次のサービスに繋げています。通所授産施設時代と比べると目標別に具体的に仕分けされ、利用者個々のニーズに沿った訓練が実施できるものと考えています。

## 「利用者の皆さんにきいてみました」

僕は、通所が本部の4階にあった開設当初から利用していて、最初は10人ぐらいの利用者で本当にこじんまりとしていました。その中で、靴下作業や喫茶作業をしていました。平成23年4月からワークス上駒に作業所が移ると利用者の数も増え現在では、50人ぐらいの利用者がいます。ワークスは、第1作業室では主にクッキーの袋詰めなど食品関係の作業をしています。第2作業室では主に箱折りを中心とした作業をしています。現在では、外作業も増え、草取り、トイレ清掃、リンクに行つての作業もあります。外作業は工賃が良い分作業としてきつと感じる事もあります。工賃が支給されると、本部のときよりずっと良く、今月もこんなに頑張ったんだと思います。また、行事では、桃狩り、イチゴ狩り、バーベQなどがあり、作業の合い間の潤いとなっています。これからもワークスで頑張っていこうと思います。(Y・H)



ワークス上駒では、いろいろな作業があります。基本屋内作業ですが屋外作業も、公園のトイレそうじ、草取り、農場、乳製品の取り扱いなどがあります。私は屋内作業一本です。第1作業室では観光地のおみやげ品を扱っています。キャンディ、キャラメル、チューイングキャンディ、サクサクキャンディ、金平糖、チョコレートなどを袋、カン、箱、ビンなどに詰めます。集中していると疲れますが、楽しいです。皆がそれぞれに目標を立てて作業をしています。私の場合、流れ作業は追われるようで具合が悪くなるので、スタッフさんに相談にのってもらっています。第2作業室ではお菓子を入れる箱折りなどが中心です。その他にも皆が楽しみにしているレクリエーションでBBQ、パイキングのお楽しみ会、苺狩りなどがあります。(峯村 彰子)

ワークスに入る前、スタッフさんに、ワークスはどんなところで、という質問を投げ掛けました。楽しいところです、との答えでした。週の中のほとんどを、ワークスで過ごすようになり、本当に、と感じます。仕事には自然とやり甲斐を感じたり、行事は生活に潤いを与えてくれ、とても楽しいです。昼休みは、テレビを見たり、冗談を言ったり、ゴロゴロして休みますが、仕事中は真剣に取り組むように頑張っています。これからも周囲の方々に感謝の気持ちを持ちながら、心身ともに安定させ、就職を目指したいです。(S・S)



ワークス上駒も開設後7年目になりました。作業も屋内作業中心から屋外での作業へと少しずつシフトを図っています。理由は工賃の保障につなげるため、そして利用者の皆さんが施設という閉ざされた空間の中でなく、社会の一員として地域の中で仕事をする構成員としての意味を考えるため。そして法人理念にあるように、誰もが人として尊重され、すべての人が住みやすいまちづくりに貢献していくためと考えています。

利用いただいている皆様の生活がより充実し“その人がよりその人らしく”生活できるよう今後も私たちは支援し続けていきたいと考えています。地域の中で暮らし続けるためにサービスの提供を行い、希望する暮らしの実現に向け応援をさせて頂きたいと考えています。ワークス上駒がこの地に根付き、少しでも地域に貢献できるよう努力し地域の皆様からの信頼を得られるよう努めていきたいと考えています。

# ライブサポートりんどうの一年の締めくくり！ ～年忘れ会～

12月9日(土)に毎年恒例になっている平成29年の年忘れ会を開催しました。天候にも恵まれ、ワークス上駒のホールは100人近くの参加者でいっぱいになりました。実行委員が中心となって準備した食事を前に、マリック徳さんの愉快的マジックショーをはじめ、ディズニーキャラクターを選んでビンゴカードを作って楽しむお題ビンゴゲームや音楽サークルりんりんりん☆りんどーずの素敵な演奏などたくさんさんのプログラムで、みなさん賑やかに過ごしている様子がうかがえました。各施設からも出し物があり、ビデオ上映やクイズ、ハンドベルの演奏と、工夫を凝らした出し物を楽しむことができました。携わってくださった方々、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。(高野)



## 実行委員からの感想☆

- ビンゴ大会は想像以上の盛り上がりを見せ好評だったので、進行に参加できてうれしかったです。
- ハンドベルは練習のいかいもあり良くできたと思った。ゲームも盛り上がって良かったと思う。

## とがくししょうまの家

### そば打ち体験、美味しかったです！



雪がちらちら舞う11月16日(木)、とがくししょうまの家の交流会でそば打ち体験をしました。今回は、地域のボランティアさんお二人が指導に来てくださいました。

前は8割蕎麦でしたが、今回は7割(そば350g 強力粉150g お湯150cc 水100cc)蕎麦です。初心者には、この位が丁度良い感じでした。



捏ねて



伸ばして



切って 茹でて



食べました

2度目の人と初めての人がいましたが、皆ドキドキしながら体験しました。

打ち立て茹でたてのおそばに、しょうまの家の畑で採れた「ネギ」を薬味にして、皆さん「美味しい、美味しい」と言いながら食べ、そば湯も頂き、お腹いっぱいになりました。また体験すれば、そば打ち名人になれるかな？

(山口徳子)

# 法人からのお知らせ

平成 29 年 10 月 23 日（月）午後 2 時から第 77 回理事会が開催され、次の議案について審議をいただきました。

## 1 審議事項

議案第 1 号 社会福祉法人長野りんどう会就業規則の改訂について

議案第 2 号 社会福祉法人長野りんどう会嘱託職員就業規則の制定について

議案第 3 号 社会福祉法人長野りんどう会非常勤職員就業規則の制定について

- ・第 1 号議案から第 3 号議案については、法の改正等に伴い職員の労働条件等について見直しをするものですが、今回の理事会へ継続審議となりました。

議案第 4 号 社会福祉法人長野りんどう会育児・介護休業等に関する規程の改訂について

- ・法の改正等に伴い職員の育児・介護休業等について見直しをするものですが、原案どおり承認となりました。

議案第 5 号 フレッシュとくま防犯工事の入札について

- ・入札の執行日、立会人及び指名業者等について、原案どおり承認となりました。

## 2 報告事項

報告第 1 号 理事長及び常務理事の職務の執行状況について

### I 事業の実施状況について（実績等は別紙事業別実施状況）

#### （1）フレッシュとくま

ア 生活介護支援事業では、より多くの参加者を確保するため、1 階は休息、4 階は活動の場と住み分けました。また、新規利用者もわずかに増えてきています。しかし一日平均 5.5 人と目標の 6 人に達することはできませんでした。より細やかな対応を心がけて支援していきます。

イ 短期入所事業については、利用時に次回の予約を取り、継続利用につなげました。しかし一日平均 1.1 人と目標 1.2 人には僅か及びませんでした。

ウ 生活訓練事業（通所）については、退所後の生活を考え一人分の食事作り、生活用品の買い物、居室の掃除等取り入れましたが、入所希望者が減少の状況で、一日平均 10.4 人と目標数 14 人には大きく届きませんでした。

エ 生活訓練（宿泊）についても、利用期間の満了前に 2 人（県住・GH）が退所しました。また、長期入院者もあり、一日平均は 10.3 人となり目標数の 16 人には大きく届きませんでした。しかし、新規利用者を確保するために北信圏域の行政、医療機関へお願いに出向いたことから現在は 15 人になりました。更なる関係機関との連携を図っていきます。

#### （2）グループホーム

共同生活援助事業では、平成 29 年度から世話人は 1 人減で、世話人 1 人に対し

利用者6人の支援体制としています。支援内容では、より自立した生活が目標の方や基本的な生活リズムを整える方など、入居者に応じた個々の支援を行っています。

利用者は、3人がアパートや県住での一人暮らしにより退所となりました。一方、家族と同居していた3人と長期入院者1人の計4人が新しく入居となりました。1日平均22.1人の利用でした。

各グループホームで支援の内容を変えて、より利用者のニーズに沿った支援を行っています。

### (3) ワークス上駒

ア 就労移行支援事業については、個別の学習会など魅力あるプログラム作りに取り組み、利用者確保に努め一日平均利用者は4.3人となりました。

また、就労移行への取り組みとしては、県の雇用関係部局などと新たに個別の相談を行い、体験する事業者を増やし実習の場を増やしました。その結果、1人が企業へ就職をすることができました。

今後としましては、職場開拓や事業所での実習先の確保などに取り組み利用者の確保と就職者を増やすようにしていきます。

イ 就労継続支援B型事業については、工賃アップを図るため、屋外作業の機会を増やす努力と「いきがい・やりがい」を感じられるプログラムを用意し、労働意欲の向上に努めました。また、利用者ニーズの確認を行い、今後の生活に繋げるべく他施設への移行に取り組んでいます。その結果、一日当たり平均利用者数は29.9人と昨年と比べ若干減少しましたが、法人として受け入れるべき精神に障がいをお持ちの方々の受け入れにつながってきています。

### (4) 相談室

相談支援事業については、主に4人の相談支援員が長野市受託相談支援事業とサービス等利用計画の作成を行っています。相談内容が家族との関係性や金銭面で困難なケースが多くなってきています。サービス等利用計画の作成では、今年度3人の専任の相談支援専門員で対応できる件数にしていく予定でしたが、利用者を引き継ぐ他の事業所もなく、その上新規利用者も受けざるを得ない状況となっていて、昨年と同様の件数を扱うことになっています。

また、地域での生活の継続を図るための地域定着支援では、利用者が昨年より6人増となっています。

サービス等利用計画の作成だけでなく、利用者や事業所からの相談への対応がより重要な業務となっています。

### (5) スローステップ（地域活動支援センターI型事業）

1日平均利用者は21.1人と目標の20人を上回っています。

高齢の利用者の居場所を探すため、各地域で開催されている介護予防体操に定期的に参加しました。また、ピア活動の充実を目指して、ピアカウンセリングに利用者スタッフで参加しました。

また、利用のない方には、電話での状況把握に努め、希望者にはワークス作業の体験できる場を提供する等、具体的支援につなげました。

今後も地域住民との連携・交流を進めるために、住民自治協議会と協働していきます。

#### (6) 長野市とがくししょうまの家（地域活動支援センターⅢ型事業）

長野市とがくししょうまの家では、平成20年度から長野市の指定管理者として地域活動支援センターⅢ型事業を実施し、今年度は平成25年度からの指定期間の最終年度を迎える中で、10人の登録者に対し、就労機会の提供・交流支援・創作生産活動等の支援に取り組んでいます。

登録者数は昨年度と同数ですが、上半期の1日平均利用者数は、昨年度の5.3人から4.9人に減少しました。これは、高齢化とこれに伴う身体機能の低下、通所意欲の減退等が一因ではないかと受け止めています。

なお、今後の事業運営について検討した結果、来年度以降は指定管理業務を行わないこととし、長野市の上承を得ています。

## II 法人運営について

### 1 障害福祉サービス事業者の指定更新

ライフサポートりんどう ワークス上駒

事業の種別	就業移行支援事業	定員	6人
	就労継続支援B型事業	定員	35人

事業更新年月日 平成29年4月1日

指定の有効期間 平成35年3月31日

### 2 資金収支の状況について（別紙収支状況のとおり）

収入額 82,081千円（前年度 90,906千円 対比 8,825千円減、9.7%減）

支出額 94,429千円（前年度 94,259千円 対比 170千円増、0.2%増）

収支差額 △12,348千円（前年度 △3,353千円 対比 △8,995千円）

なお、収入額のうち、市町村からの給付費収入は2か月後れでの収入になることから、4月から7月までの収入額となっています。

## 平成 29 年度上半期（平成 29 年 4 月～9 月）事業実施状況

項目	事業所	フレッシュとくま								共同生活 援助事業		ワークス上駒				地域活動支援 センターⅠ型 「スロー ステップ」		地域活動支援 センターⅢ型 「長野市とが くししょうま の家」	
		生活介護 支援事業		短期入所 支援事業		生活訓練 (通所) 支援事業		生活訓練 (宿泊) 支援事業				就労移行 支援事業		就労継続支援 B型事業					
		28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
定 員 (人)		6		3		14		17		26	25	6		35		40		10	
月平均登録者数 (人)		13.5	15.2	-	-	20.3	15.8	14.8	12.2	-	-	4.5	4.3	49.0	45.0	110.8	92.3	10.0	10.0
開 所 日 数 (日)		132	132	183	183	122	123	183	182	183	183	121	121	121	121	118	121	121	121
延べ利用者数 (人)		869	720	326	199	1,588	1,282	2,407	1,880	4,394	4,050	389	474	3,805	3,636	2,715	2,519	637	593
平均利用者数 (人)		6.6	5.5	1.8	1.1	13.0	10.4	13.2	10.3	24.0	22.1	3.2	4.3	31.4	29.9	23.0	21.1	5.3	4.9
29 年度目標 (1 日当たり平均利用者数)		6 人		1.2 人		14 人		16 人		24.1		5 人		30 人		20 人		設定なし	

### 相談支援関係

長野市受託相談支援事業				指定特定相談支援事業				指定一般相談支援事業			
		28年度	29年度			28年度	29年度			28年度	29年度
障害者別件数	障がい者	800	780	サービス等利用 計画作成件数	障がい者	335	352	地域移行支援	実利用者数	5	5
	障がい児	37	41		障がい児	20	12		利用延件数	16	10
	計	837	821		計	355	364		地域定着支援	実利用者数	8
								利用延件数	32	78	
								緊急対応	1	2	

## 平成 29 年度上半期（4月1日～9月30日）収支状況（予算執行率・前年度対比）

※金額については、各科目で四捨五入してあるため合計と相違する場合があります。

（収入） ※給付費収入は、2か月後れの収入となるため4月～7月の額です。 （支出） (単位：千円)

科 目	予算A	執行額B	執行率 B/A %	前年度C	増減額 C-B	科 目	予算A	執行額B	執行率 B/A %	前年度C	増減額 C-B
就労支援事業収入	14,130	7,250	51.3	7,567	△ 317	人件費支出	158,917	65,715	41.4	66,012	△ 297
障害福祉サービス等事業収入	217,485	73,478	33.8	82,339	△ 8,861	事業費支出	19,285	6,575	34.1	8,024	△ 1,449
自立支援給付費収入	168,489	48,126	28.6	55,737	△ 7,611	事務費支出	27,495	10,327	37.6	10,115	212
障害児施設給付費収入	610	176	28.9	316	△ 140	就労支援事業支出	14,130	7,250	51.3	7,283	△ 33
利用者負担金収入	210	147	70.0	101	46	支払利息支出	232	118	50.9	126	△ 8
補足給付費収入	3,000	886	29.5	1,012	△ 126	その他の支出	1,200	643	53.6	60	583
特定費用収入	16,556	5,949	35.9	6,960	△ 1,011						
その他の事業収入	28,243	18,195	64.4	18,213	△ 18						
経常経費寄附金収入	1,600	10	0.6	753	△ 743						
受取利息配当金収入	31	2	6.5	3	△ 1						
その他の収入	600	161	26.8	190	△ 29						
計	233,846	80,901	34.6	90,851	△ 9,950	計	221,259	90,626	41.0	91,619	△ 993
※1 施設整備等補助金収入	1,200	0	0.0	0	0	借入金元金償還支出	1,512	756	50.0	756	0
固定資産売却収入	0	29	-	0	29	固定資産取得支出	8,553	2,417	28.3	1,107	1,310
計	1,200	29	2.4	0	29	計	10,076	3,173	31.5	1,863	1,310
※2 積立資産取崩収入	1,500	1,151	76.7	54	1,097	積立資産支出	4,450	630	14.2	777	△ 147
計	1,500	1,151	76.7	0	1,151	計	4,450	630	14.2	777	△ 147
						予備費	761	0	-	0	0
合 計	236,546	82,081	34.7	90,906	△ 8,825	合 計	236,546	94,429	39.9	94,259	170
※1 施設整備等による収支						収支差額	0	△ 12,348	-	△ 3,353	△ 8,995
※2 その他活動による収支											

フレッシュとくま

## ありがとなし、福島会津



10月26日(木)～27日(金)にフレッシュとくま恒例の秋の一泊旅行にメンバー、スタッフ28人で行ってきました。

今年は、新潟～福島県会津にかけての旅行です。1ヶ月ほど前から、実行委員さんを中心に希望を聞いたり、地理や歴史を調べたり、体調で気を付ける事を話し合ってきました。

一日目は、新潟から会津若松「白虎隊」で有名な鶴ヶ城へ。その後は会津にある東山温泉に宿泊。翌日は猪苗代湖のほとりにある日本が誇る科学者野口英雄の記念館へ。長距離の移動でしたが、二日も好天に恵まれ、体調を崩す人もなく、福島の歴史を感じる良い旅となりました。ちなみに、「ありがとなし」は会津弁で「ありがとう」という意味です。(武井)

### ☆感想☆

- ・鶴ヶ城、登るのは大変だったけど、上から見た景色はとても良かった。
- ・野口英雄記念館、思いのほか面白かった。
- ・バイキングでステーキやアイスクリーム沢山食べたよ。
- ・色々メンバーと会話できて楽しかった。
- ・お土産で赤べこグッズ、せんべい買いました。



鶴ヶ城にて

スローステップ

## カラオケ行ってきました!



11月13日(月)スローステップの行事は「カラオケで歌おう!」でした。今年度に入ってから初めてのカラオケだったのでメンバー皆とても楽しみにしていました。当日は徒歩でカラオケ屋まで行き、2時間歌いました。今回参加されたメンバーの年齢がバラバラだったので、演歌、Jポップと幅広い歌を歌われていました。メンバー、スタッフ合わせて7人参加し、一人3、4曲ほど歌い、他の方が歌っている時は手拍子や体を揺らしてリズムに乗ったりして、楽しみました。

参加されたメンバーは、「久しぶりだったので楽しかった」「色々な(ジャンルの)歌が聞けたし、歌えてよかった」「またカラオケしたい」と、カラオケを満喫した様子でした。次回からも充実した行事を、メンバーと共に考え、企画していきたいです。(冨澤)

## とくまの里まつりに参加しました！

11月11日（土）に、とくまの里まつりにバザーで参加しました。バザーへは、メンバーさん4人とスタッフ1人で参加し、ストラップやアイスマグネット、シュシュ、くるみボタン、メンバーさんの自主製品ではないのですが（木工マグネット、ストラップ等）を出品しました。作品は、メンバーさんと一緒に材料の買い出しへ行き、何を何個作るか検討し、自主活動や手芸等の時間に作りました（100品以上作ったと思います）。

当日は8時半から準備を始めましたが、準備の段階から活気が溢れていて開始前から盛り上がりを見せていました。たくさんの小学生が来てくださり、「おそろいでつけよう」「これかわいい！」とやっていただき作った甲斐があったと思いき嬉しかったです。また、売り子で参加してくれたメンバーさんも、戸惑う様子もなく、「これはどうですか？」「これはこう作ったんだよ」と声を掛けていました。客足が途絶えると「いかがですか～？」「ご覧ください！」と呼び込みも積極的に行っていました。おかげで売り上げも良く、残った作品は半分以下でバザーは大盛況でした！普段小学生と交流する機会はほとんどありませんので、いい体験になったのではないかと思います。メンバーさんも、「長い間人がたくさん来てくれた」「途切れることなくお客が来てくれて、作品も売れてよかった」「準備から関わり大変だったが、小学生との交流が楽しかった」と言っていて、充実したバザーだったと思います。皆で作品を作ったこと、「作品を売る」というだけではなく、「地域の方たちと交流した」という事を、メンバーさんと共に経験できたことは私にとってもいい体験でした。（富澤）



## 若槻地区バザーで着物姿でお給仕しました！

11月11日（土）若槻地区のバザーが行われました。その着物カフェ（喫茶コーナー）をライフサポートりんどう利用者さんとスタッフでお手伝いをしました。昨年に引き続いての参加で、ワークス上駒で作ったケーキを30個無償提供し、バザーに来場したお客様の休憩場所で、コーヒーと共にお着物を着ておしとやかにおもてなしをさせていただきました。ケーキはもちろんのこと完売。最終的には50杯のコーヒーも完売し「ケーキ美味しかったよ」と声をかけて頂きました。また来年も参加したいです。（小林千佳子）



会場の様子



お給仕をしてくれた方々です

## 家族会

# 【親あるうちの自立】について考える機会となりました

みんなねっと北信越ブロック家族会 精神保健福祉研修会長野大会が10月6日（金）にホクト文化ホールにて開催されました。ライフサポートりんどう家族会から8名の参加がありました。

東洋大学ライフデザイン学部教授・精神科医の白石弘巳先生に「精神障がい者に必要な家族支援」というテーマで講演して頂きました。以下は白石先生の講演を簡単にまとめたものです。

◎近年は親亡き後の深刻化、親あるうちの自立が課題となってくる時代であり、今家庭内では、自らが介護をしながら引きこもっている精神障がい者の面倒をみている老親や家族の介護をしている精神障がい者、同居家族が亡くなり入院を余儀なくされる人等がいる状況。

◎千葉県精神障害者家族連合会では、親離れ・子離れについて「衣食住を子ども自らが出来るように、父母は身を引こう」「子との距離を意識的に広げよう、親が自ら離れよう」という話し合いがされている。

◎障害をもつ人の自立は、必ずしも自分で稼いで人に頼らない生活をする事だけが自立ではない。大切なことはできることは自ら行い、できないことは人に頼むことができる力を持つこと。

◎今家族がすべきこと。

- ・長期間経過した患者さんがこれ以上よくならないから問題が生じている（自立できない、退院できない）という考えを捨てること。
- ・障害が重たくても地域生活は可能であると信じること。
- ・家族以外の支援者を増やす運動をすること。
- ・患者さんを支援者に委ね、じっと見守ること。
- ・自分の生活を楽しむこと。



（佐藤）

### 参加された家族会員の感想

- 白石先生の話は事例も多く話してくれたので、とてもわかりやすかった。自分の子どもの事とリンクして考えることが出来た。家族ももっと支援者と話す機会が欲しい。
- シンポジウムでは他の家族の方の話も聞けて、どの家族も同じ想いを抱いていると感じた。
- 子の自立のために親は自ら離れていくという言葉が心に響いた。
- 思い返すと、家族も負担と感じていた時があった。やはり白石先生がおっしゃるように家族自身の生活を楽しむことが大切だと感じた。

## ライフサポートりんどろ 相談室 スタッフ紹介

日頃、長野市障害ふくしネットへの参画や福祉サービスを使うに当たってのケアプランの作成等の業務を行っています。

- ① 自分を漢字一文字で表すと？    ② その理由は？

### 大日方玲香

- ① 「平」  
② 平和が好き。凸凹しない平常心でいられるようにしたいです。

### 山口 和嘉

- ① 「犬」  
② 飼い主に従順。懐けばちゃんということを知っていると聞いていますが…

### 清水絵里奈

- ① 「笑」  
② 「笑顔を大事に」と親に言われて育ってきました。いつも「ヘラヘラ」していますが、「ニコニコ」しているつもりです。

### 北川 智子

- ① 「頑」  
② 人に聞きました。意味を調べると ①融通が利かない ②いたって丈夫な事、とありました。残念ながらぴったりです…。



## お知らせ

法人への支援として寄付金をいただきました。

後援会 様 より      600,000 円

家族会 様 より      50,000 円

ありがとうございました。

## 人事異動

### 【退職】

ワークス上駒 原田 國子

(12月31日付)

## 編集後記

今回はワークス上駒の移り変わりを特集しました。ご協力してくださった利用者の皆さん、ありがとうございました。

この記事を読み興味を持たれた方は、ぜひご連絡下さい。

(小林清美)